

しずぎん外為 WEB サービス

ご利用ガイド（別冊）

1

外国送金依頼

1.1 全銀形式ファイルフォーマット（外国向送金）

■ヘッダー・レコード

No.	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコードの種類「1」：ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	業務種別「35」：外国送金依頼
3	※コード区分	N(1)	文字コード「0」固定：JISのみ
4	※送金依頼人コード	N(10)	当行が採番したお客さまの取引先コード（右詰め残り前「0」）
5	※送金依頼人名	C(40)	お客さまの名称（左詰め残りスペース）
6	送金指定日	N(4)	送金実行日（MMDD）
7	仕向銀行コード	N(4)	当行の金融機関コード「0149」
8	※仕向銀行名	C(15)	当行の金融機関名「SHIZUOKA BANK」（左詰め残りスペース）
9	仕向支店（取扱店）コード	N(3)	お取引店の支店番号
10	※仕向支店（取扱店）名	C(15)	お取引店の支店名（左詰め残りスペース）
11	ダミー	C(155)	左記桁数をスペースで埋める

(注1)「項目名」の※：任意項目（以下同じ） (250) 本項目の合計桁数は250桁とする

(注2)「桁数」のN：半角数字、C：半角文字（以下同じ）

■データ・レコード（本体情報）

No.	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコードの種類「2」：データ・レコード
2	データレコード区分	N(2)	データレコードの種類「01」：本体情報
3	※処理通番	N(4)	1ファイル内での本体情報のシーケンス番号「0001」～「0050」：最大50
4	※取引先照会番号	C(16)	お客さま整理番号（左詰め残りスペース）
5	送金金額		
6	幣種	C(3)	送金通貨（SWIFTコード）
7	小数点位置	N(1)	小数点以下桁数
8	金額	N(15)	送金金額（外貨額）（右詰め残り前「0」）
9	円貨対価金額		
10	換算幣種	C(3)	左記桁数をスペースで埋める
11	金額	N(15)	左記桁数をスペースで埋める
12	送金種類区分	N(1)	「1」：電信送金
13	電信種類区分	C(1)	左記桁数をスペースで埋める
14	※支払区分	N(1)	「1」：通知払（ADVANCE AND PAY）
15	支払手数料区分	N(1)	手数料負担区分 「1」：送金受取人、「2」：送金支払人
16	送金目的		
17	※国際収支項目番号	N(4)	送金目的の国際収支項目 ※日銀 HP 掲載の国際収支項目番号を設定（右詰め残り前「0」）
18	送金目的	C(22)	送金目的を記入（左詰め残りスペース）
19	※送金許可		送金許可を受けている場合の番号と日付
20	ライセンス No.	C(20)	認可ライセンス番号（左詰め残りスペース）

21	ライセンス日付	N(8)	認可ライセンス日付 (YYYYMMDD)
22	ダミー	C(132)	左記桁数をスペースで埋める

(250) 本項目の合計桁数は 250 桁とする

■データ・レコード (会計処理内訳)

No.	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコードの種類「2」: データ・レコード
2	データレコード区分	N(2)	データレコードの種類「02」: 会計処理内訳
3	同一種類データ・レコード数	N(2)	1つの本体情報に紐づく会計処理内訳データレコード数「01」: 1レコードのみ
4	同一種類データ・レコード番号	N(2)	会計処理内訳データレコードのシーケンス番号「01」: 1レコードのみ
5	分割会計内訳数	N(2)	分割決済を行う場合の「会計内訳」の件数「01」～「03」: 最大3
6	会計内訳(1)		分割決済時の会計内訳(1) ※分割決済を行わない場合は全体金額を設定
7	相場区分	N(2)	決済方法 「01」: SPOT (直物)、「02」: CONT (為替予約)、「03」: NOEX (外貨)、「04」: 円建
8	処理内訳金額		
9	幣種	C(3)	送金通貨 (SWIFT コード)
10	小数点位置	N(1)	小数点以下桁数
11	金額	N(15)	内訳金額 (外貨額) (右詰め残り前「0」)
12	円貨対価額		
13	ダミー	C(3)	左記桁数をスペースで埋める
14	ダミー	C(1)	左記桁数をスペースで埋める
15	金額	N(15)	左記桁数をスペースで埋める
16	※予約番号	C(16)	予約決済時の為替予約番号 (左詰め残りスペース)
17	引落口座		代り金引落口座
18	幣種	C(3)	口座通貨 (SWIFT コード)
19	預金種目	N(1)	預金科目「1」: 普通預金、「2」: 当座預金
20	口座番号	N(10)	口座番号 (右詰め残り前「0」)
21	ダミー	C(10)	左記桁数をスペースで埋める
22	※会計内訳(2)	-(80)	No.6「会計内訳(1)」に同じ ※No.5「分割会計内訳数」が「01」の場合はスペース
23	※会計内訳(3)	-(80)	No.6「会計内訳(1)」に同じ ※No.5「分割会計内訳数」が「01」または「02」の場合はスペース
24	ダミー	C(1)	左記桁数をスペースで埋める

(250) 本項目の合計桁数は 250 桁とする

■データ・レコード（送金指図内訳）

No	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコードの種類「2」: データ・レコード
2	データレコード区分	N(2)	データレコードの種類「03」: 送金指図内訳
3	同一種類データ・レコード数	N(4)	1つの本体情報に紐付く送金指図内訳データレコード数「0001」～「0006」: 最大6
4	同一種類データ・レコード番号	N(4)	送金指図内訳データレコードのシーケンス番号「0001」～「0006」: 最大6
5	可変項目数	N(2)	本レコード内の可変項目数
6	可変項目有効桁数	N(3)	本レコード内の可変項目の有効桁数合計
7	可変項目		頭3桁: 接頭語、999: 当該項目の有効文字桁数、括弧の数字: 当該項目の最大桁数。
8	受取人		
9	受取人名	(可変)	BNN999 (MAX70桁)
10	住所	(可変)	BNA999 (MAX70桁)
11	※口座番号	(可変)	ACT999 (MAX34桁) ※受取人の口座番号
12	被仕向銀行		送金先銀行(受取人銀行)
13	銀行名	(可変)	BAN999 (MAX35桁)
14	支店名	(可変)	BAB999 (MAX35桁) ※No.14「支店名」とNo.15「住所」は、いずれか一方必須
15	住所	(可変)	BAA999 (MAX70桁)
16	※依頼人名	(可変)	APN999 (MAX140桁)
17	※メッセージ	(可変)	MSG999 (MAX140桁) ※受取人宛てメッセージ
18	※経由銀行		
19	銀行名	(可変)	BTN999 (MAX35桁)
20	支店名	(可変)	BTB999 (MAX35桁)
21	住所	(可変)	BTA999 (MAX70桁)
22	ダミー	(残桁数)	左記桁数をスペースで埋める

(注) 可変項目の設定例は以下のとおり。 (250) 本項目の合計桁数は250桁とする

【No.9「受取人名」に“BENEFICIARY'S NAME”を、No.10「住所」に“BENEFICIARY'S ADDRESS”を設定する場合の例】

BNN	018	BENEFICIARY'S NAME	BNA	020	BENEFICIARY'S ADDRESS
接頭語	桁数	「受取人名」の内容(18桁)	接頭語	桁数	「住所」の内容(20桁)

■トレーラ・レコード

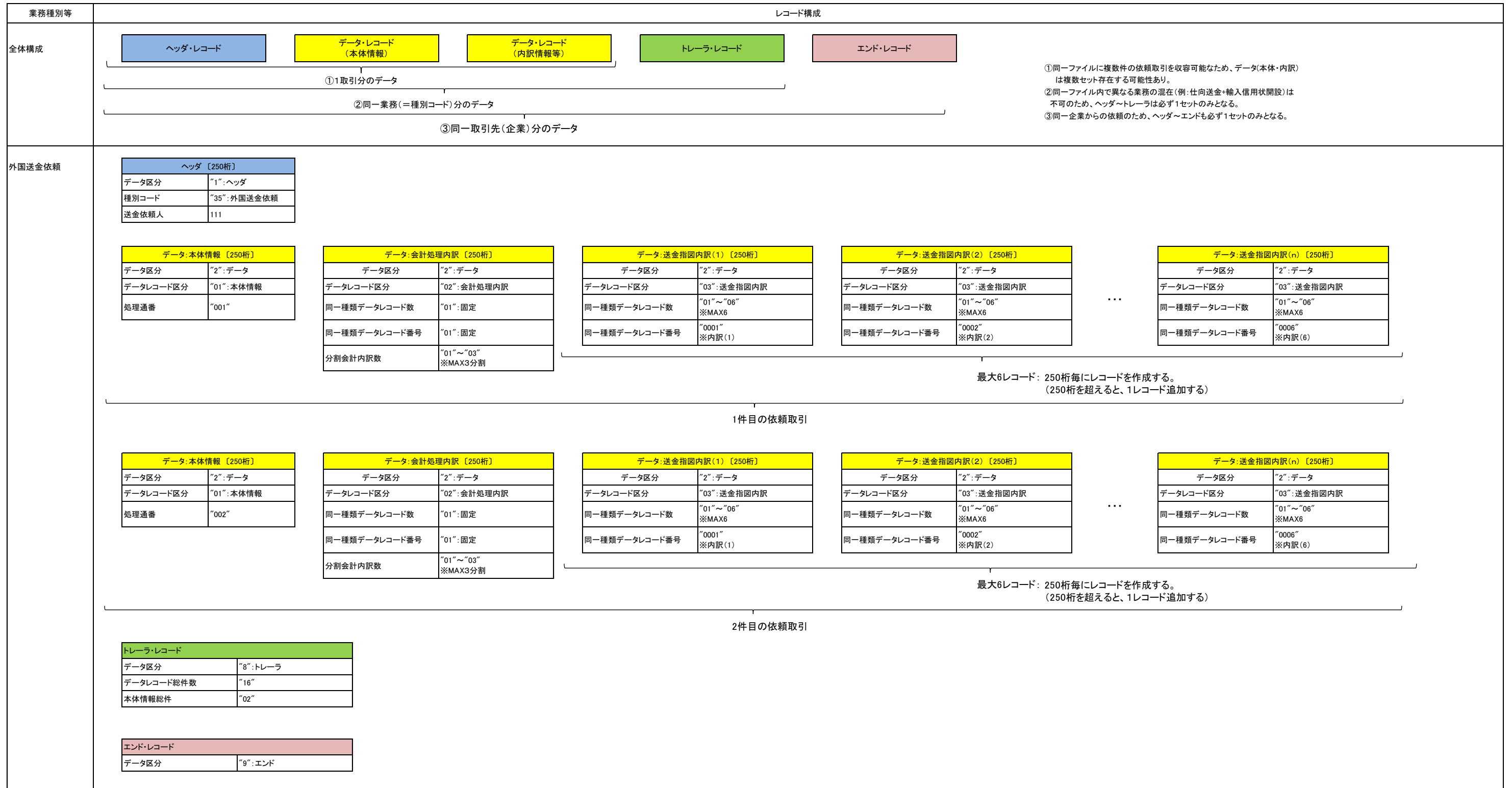
No.	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコードの種類「8」: トレーラ・レコード
2	データレコード総件数	N(10)	データレコードの総件数(右詰め残り前「0」)
3	本体情報総件数	N(10)	本体情報の総件数(右詰め残り前「0」)
4	ダミー	C(229)	左記桁数をスペースで埋める

(250) 本項目の合計桁数は250桁とする

■エンド・レコード

No.	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコードの種類「9」: エンド・レコード
2	ダミー	C(249)	左記桁数をスペースで埋める

(250) 本項目の合計桁数は250桁とする



1.2 送金依頼（ファイル登録）

1.2.1 取引選択画面を表示して、 を押します。

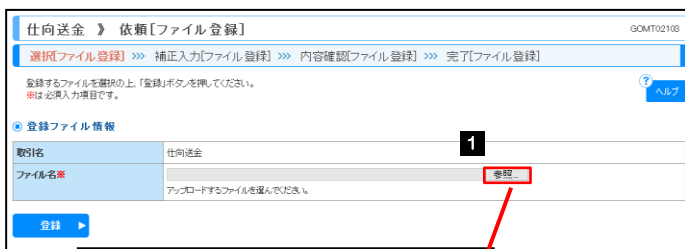
送金依頼 [ファイル登録]



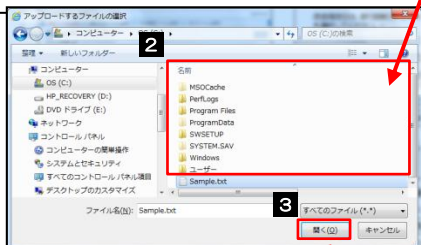
1 **仕向送金** メニュータブを押す
「仕向送金 取引選択」画面を表示します。

2 **送金依頼 [ファイル登録]** ボタンを押す

1.2.2 ファイルを指定し、**登録**を押します。

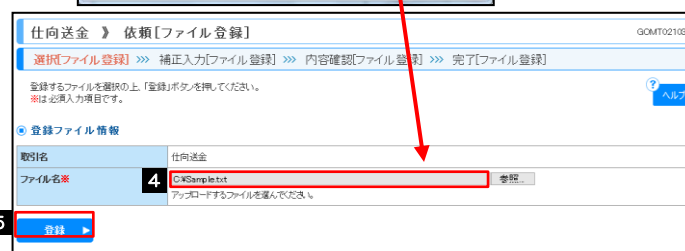


1 **参照** ボタンを押す
ファイルを選択するウィンドウを表示します。



2 アップロードするファイルを選択

3 **開く(O)** ボタンを押す
「アップロードするファイルの選択」ウィンドウが閉じます。



4 選択したファイル名を表示

5 **登録** ボタンを押す

メモ

- ファイル登録を行う場合は、あらかじめ全銀形式のファイルを準備してください。
- ファイルの拡張子は「.txt」とし、ファイル名は 50 桁以内（拡張子込み）としてください。
- 送金明細の件数が 50 件を超える場合や、フォーマットどおりのデータでない場合には、取り込みできませんのでご注意ください。

1.2.3 受取人国名・送金先銀行国名を指定し、**内容確認**を押します。

1 登録方法 を選択

- ① “一律”を選択した場合
すべての明細に一律適用します。(2へ)
- ② “個別”を選択した場合
明細ごとに個別適用します。(3へ)

登録方法で“一律”を選択した場合

2 受取人国名 送金先銀行国名 を 選択 ⚠

プルダウンで“その他”を選択した場合は、
国名を直接入力してください。

登録方法で“個別”を選択した場合

3 明細ごとに

受取人国名 送金先銀行国名 を
選択 ⚠

プルダウンで“その他”を選択した場合は、
国名を直接入力してください。

4 内容確認 ボタンを押す

⚠ 注意

- ▶ 送金依頼（ファイル登録）では、「送金種類」に「海外向電信送金」が初期設定されているため、「送金先銀行国名」に“JAPAN”を指定した場合、内容確認画面（次画面）で登録結果が“×”になります。国内向けの送金を行う場合は、修正（ファイル登録）画面で「送金種類」を“国内向け電信送金”に修正してください。>>>> P.8参照
- ▶ 受取人情報（登録ファイルの「受取人名」「受取人住所」「受取人口座番号」 + 補正入力画面で入力した「受取人国名」）がしすぎん外為 WEB サービスの受益者情報に未登録の場合、内容確認画面（次画面）で登録結果が“×”になります。修正（ファイル登録）画面で「受取人情報」を修正してください。>>>> P. 8参照
- ▶ お客さまがユーザごとに設定した「1回あたり」の上限金額を超過した場合、内容確認画面（次画面）で該当取引の登録結果が“×”になります。修正（ファイル登録）画面で「送金金額」などを修正してください。>>>> P.8 参照
- ▶ 当行がお客さまごとに定めた「1日あたり」の上限金額を超過した場合、個々の取引について“×”は表示されず、内容確認画面（次画面）で「実行」ボタンを押下したタイミングですべての取引がエラーとなります。アップロードファイル全体での合計金額が「1日あたり」の上限金額を超過しないよう、ファイル自体の修正や修正（ファイル登録）画面での修正入力を行って下さい。>>>> P.8参照
- ▶ 送金指定日に日本の休日を指定することはできません。

1.2.4 依頼内容を確認し、**実行**を押します。

通番	送金指定日	お客様管理番号	送金人名 受取人名	通貨	金額	受益人氏名 送金先銀行国名	登録結果	詳細
1	2015/04/01	ABC1234	FOREIGN EXCHANGE CO., LTD. XYZ PRODUCES CO., LTD.	USD	30,000.00 (円)	UNITED STATES OF AMERICA アメリカ合衆国	○	詳細
2	2015/04/01	ABC1234	FOREIGN EXCHANGE CO., LTD. UVW PRODUCES CO., LTD.	USD	30,000.00	UNITED STATES OF AMERICA アメリカ合衆国	○	詳細
3	2015/04/01	ABC1234	FOREIGN EXCHANGE CO., LTD. XYZ PRODUCES CO., LTD.	USD	30,000.00	UNITED STATES OF AMERICA アメリカ合衆国	×	詳細

1. **登録結果**を確認

- ひとつでも“×”がある場合
該当明細の「詳細」ボタン押下で修正画面を表示しますので、×となっているすべての明細についてエラー項目を修正してください。
》》》 P.8参照
- すべて“○”の場合
「(BIC) SWIFT コード」、「金融機関への連絡事項」に追記が必要な場合は、①により該当の項目を修正してください。修正完了後、
1. 以降の手順におすすみください。

2. **同意欄**をチェック

「確認事項」をお読みいただいたうえでチェックしてください。
(同意いただけない場合はお取扱いできません。)

3. 承認パターンにより承認者情報または認証情報を設定

1. シングル承認取引の場合

承認者を選択

2. ダブル承認取引の場合

承認者を選択

「一次承認者」「最終承認者」をプルダウンよりそれぞれ選択してください。

3. 承認なし取引の場合

A 追加パスワード認証なしの場合

確認用パスワードを入力

B ワンタイムパスワード認証の場合

確認用パスワード

ワンタイムパスワードを入力

ハードウェアトークンに表示されたワンタイムパスワードを入力してください。

4. **実行** ボタンを押す

依頼結果 [ファイル結果] 画面を表示します。
》》》 P.8 参照

メモ

- 依頼内容に誤りのある明細は、「登録結果」に“×”が表示されます。すべての「登録結果」が“○”にならないと、実行ボタンを押すことができません。
- お客さまが設定した承認パターンに該当する操作をしてください。
- ダブル承認の場合、「一次承認者」と「最終承認者」に、同一承認者は選択できません。

便利

ソフトウェアキーボードを開く

マウス操作による入力を行うことでキーボード入力情報の不正記録(キーロガー)を防ぐことができます。

1.2.5 項目を修正し、**修正** を押します。

1 エラー項目を修正し、**修正** を押す

すべてのエラーが解消されると「内容確認」画面に戻ります。>>>> P.7 参照

「内容確認」画面に戻らない場合は、エラーが存在しますので、エラー内容に従って項目を修正してください。

1.2.6 送金依頼（ファイル登録）の完了です。

1 **ファイル登録番号** を控える

取引選択画面に戻る場合

2 **仕向送金メニューへ** ボタンを押す

続けてファイル登録を行う場合

3 **次のファイル登録へ** ボタンを押す

注意

- このメッセージが表示された場合、該当のお取引はお客さま社内承認待ちの状態となっており、当行へのお申込はまだ完了していません。引き続き承認者にご連絡のうえ、承認操作を依頼してください。（お客さまの承認パターンがシングル承認、またはダブル承認の場合、承認者による承認操作が必要となります。）
- 承認なしの場合は、この操作で当行へのお申込みが完了します。（メッセージも表示されません。）

メモ

- 承認時は、ファイル番号単位で一括承認することも可能です。
- ファイル登録番号は一括依頼（ファイルアップロード）の単位で採番されますが、同時に、個々の明細に対して受付番号が採番されています。受付番号は「取引照会」画面で“ファイル登録番号”にて検索し、確認してください。
- 依頼内容を修正する場合は「引戻し可能取引一覧」より引戻し（取下げ）のうえ、修正してください。